



Prepare for the Future - 未来に備える - 2016 本庄市職員募集案内



◇市長からのメッセージ



本庄市に興味を持ってくださったみなさん、こんにちは！
本庄市長の吉田信解です。

今年、私は年頭の挨拶で職員に対して「備える」という言を掲げました。

この「備える」は、単に自然災害に備えることのみを意味しているわけではありません。現代は、極めて不確実性の高い時代であり、経済状況や政治動向、あるいは、様々な制度等についても、流動的な状況が続いております。そのような中で私たちは、あらゆる事態を想定し、どのような変化があってもしっかりと対応できるよう「備える」ことで、将来への安全安心をより確実なものにしていく必要があります。

私は、この「備える」という言葉を、このメッセージを読んでいただいているみなさんにも贈ります。就職活動を通じ、これまでの人生を振り返り、新たな一步を踏み出そうとしているみなさんは、今が正に将来に向けた備えの時期だと思います。この時期に考え、経験したことは、この先の人生での「備え」となり、必ず役に立つはずです。

ぜひ、みなさんがこれまでに経験し、備えてきたものを本庄市で活かしてみてください。本庄市には、それを実現できる場所があります。

本庄市長 吉田信解

◇本庄市の概要

本庄市は東京から80km圏、埼玉県の西北に位置します。地形は概ね平坦で安定した地盤を有していますが、南西部は500m級の山々が連なる山間地となっています。自然災害は少なく、気候は夏に雨量が多く、冬に少ない東日本型気候であり、水と緑豊かな自然環境に恵まれたところです。

◇本庄市のデータ (平成28年6月1日現在)

人口 79,017人
世帯数 33,368世帯
面積 89.69km²
職員数 533人

主要な交通網

鉄道

J R上越新幹線 本庄早稻田駅
J R高崎線 本庄駅
J R八高線 児玉駅

道路

関越自動車道 本庄児玉IC
国道17号、254号、462号

◇本庄市の取り組みを紹介します

◇人口減少への対応

急速に進む人口減少問題を克服していくことが課題となっており、出会いの場の提供や出産・子育て支援、市民一人ひとりがいきいきと生活し健康長寿につながる施策に取り組むことで、出生率の増加を図っています。

【子ども・子育て支援】

延長保育事業や一時預かり事業、病後児保育事業、地域子育て支援拠点事業、ファミリーサポート事業等を行う事業者に対して助成や委託を行い、支援事業者の確保及び拡大を図り、市民の方の保育需要の拡大に対応しています。

更に、民間保育園等に対する園舎の整備等にかかる工事費支援及び人件費補助の実施や放課後児童健全育成支援を充実させるため、新たな学童保育所への委託を行っています。



【健康づくりの推進】



市民の健康づくり事業を展開していく保健センターに、休日・夜間診療所及び健診・検査エリアを新設した、新しい保健センターを平成29年度から供用開始する予定です。

また、平成27年度から国民健康保険及び後期高齢者医療制度の被保険者を対象に実施している「健康づくりチャレンジポイント事業」(はにぼんチャレンジ)を、平成28年度から20歳以上の市民に拡充し、市全体で健康に対する意識の高揚と健康増進を図り、健康長寿の実現を目指しています。

◇地域経済の活性化

農業、商工業などの産業の振興、世界文化遺産をはじめとした観光の振興、企業誘致とともに就業の選択や所得の拡大などに取り組み、定住・交流人口の増進を図ることで、本庄市の新たな魅力の向上に努めています。

【企業誘致・勤労者対策】

工場の新・増設や設備投資による新規立地、施設拡充に企業誘致条例に基づく奨励金制度を設け、地域産業の更なる振興に努めています。企業立地を促進し、新たな雇用の創出や就業の機会、選択の拡大など、環境の充実を図っています。



【観光への取組】

本庄市の偉人「塙保己一」に関する資料を展示する「塙保己一記念館」や世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」との関係が深い「競進社模範蚕室」と「旧日本庄商業銀行煉瓦倉庫」を最大限に活用し、市の知名度アップや交流人口の増加を目指しています。

また、絹産業関連施設を擁する地域を「上武絹の道」として、ブランド化を図り、地域の観光戦略を一体的に運営する組織を立ち上げることにより、自治体の圏域を越えた連携を強化し、当該地域の観光等による地方創生を推進しています。

その他にも、「ゆるきゃらグランプリ2016」にて、マスコットキャラクター「はにぼん」を第1位にするため、市の内外において積極的にPR活動を行っています。

◇地域の特性を活かしたまちづくり

駅周辺拠点における、居住や交流環境等の魅力を一層高めることにより、定住の促進、店舗等の開業・起業、地域のつながりの強化、市民参加型の地域活動を推進し、コンパクトで賑わいのある安全・安心なまちなかを目指しています。

【まちづくり】

「都市計画マスタープラン」を基に、本庄駅、児玉駅、本庄早稲田駅の3つの駅周辺の拠点の連携を基本とした集約型都市構造(ネットワーク型コンパクトシティ)を構築するとともに、地域ごとの潜在力を引き出し、持続可能な都市の実現を目指しています。

本庄駅周辺では、高校生の若い力と発想力を活かした高校生イベントの実施やまちづくり写真・絵画コンクールなどの地域の魅力発掘イベントを開催し、そのアイデアをまちづくりに活かしています。児玉駅周辺では、「競進社模範蚕室」について、来場者の利便性を高めるため、トイレや休憩施設の整備を行っています。本庄早稲田駅周辺においては、先行整備地区以外の地区においても整備を進めていく予定です。

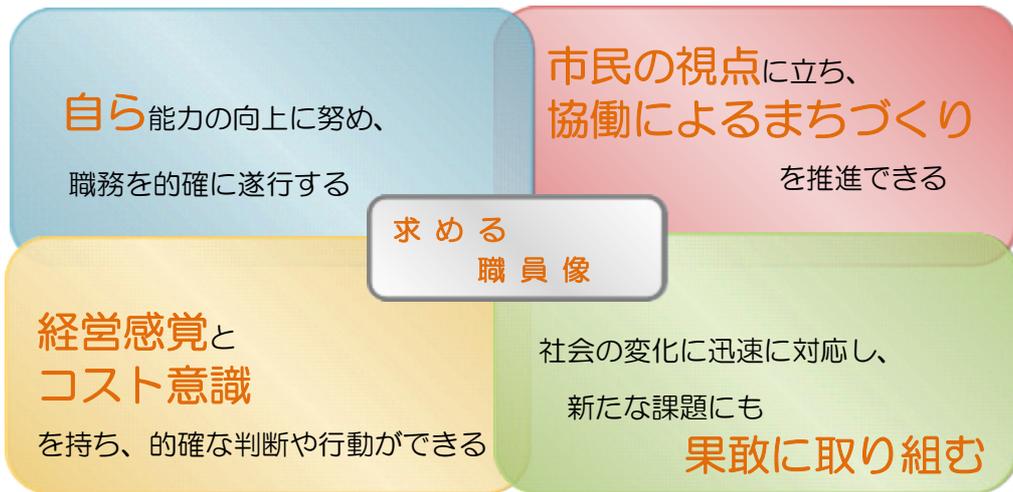
【危機管理意識の向上】

本庄市は自然災害が少ない地域ですが、「備え」は必要です。災害時に迅速な対応が取れるように、防災訓練の実施や防災行政無線の維持管理を行っています。

防犯の面では、市内全域の防犯灯のLED化を進め、夜間における犯罪の防止を図るとともに、省エネも推進しています。



◇本庄市の求める職員像



地方自治体は自らの判断と責任により、地域の実情に沿った行政を展開していくことが求められています。厳しい財政状況や人口減少時代において、本庄市では、魅力あるまちづくりに取り組むため、既成概念にとらわれずに、自ら考え・行動し、市民全体のため・世のために真に必要な仕事を見極め、市民と共に課題に取り組む職員を求めています。また、仕事に対して地道にコツコツと取り組みながらもスピード感を忘れることなく、物事のチャンスを見定めて確実に掴めるよう、常に先見性を持ち、使いこなす感覚を求めています。

理想や夢を掲げ、どんな困難・課題にも負けずに立ち向い、明日の本庄市をつくりたい！そんなやる気のある皆さんの応募をお待ちしています。

◇先輩職員からのメッセージ

人口の超高齢化の進行による社会負担の増大に備える！！

Q 私の所属はこんなところ

A 私の所属する保険課国保係では、国民健康保険への加入、脱退に伴う手続きや人間ドックなどの各種助成申込み、また国民健康保険税の賦課業務などを行っています。国民健康保険の制度はとても複雑であるため、窓口では丁寧な説明が求められます。また、高齢化が進む現在において、医療費を抑えるための取り組みも保険課の大切な業務の一つです。

Q 印象に残っていること

A 保険課では昨年度より「はにぼんチャレンジ」という事業を始めました。これは、市が主催する健康づくり事業に参加したり、人間ドックなどを受診して、集めたポイントに応じて賞品の交換ができるというものです。目標があることで健康づくりへの意欲があがった、この事業をきっかけに健康づくりに関心を持ったという声をいただき、市民の方に健康づくりへの関心を持っていただけたと感じています。

Q 受験生のみなさんへ

A 市民の方にとって、窓口で最初に声をかけた職員の対応が市役所の第一印象となります。業務に関する知識を深めることだけでなく、市民の方に寄り添った対応をすることが大切です。市役所の仕事は、市民の方の一生を通して必要なサービスを提供していくことにやりがいを感じます。そんな市役所でみなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



◆ 内田 成美 主事

保健部 保険課 国保係
平成24年度採用 一般事務
異動歴/H24.4 現所属

◆ 少子化と人口減少に備える！！

Q 私の所属はこんなところ

A 私の所属している企画課政策係では、人口減少を抑制するための計画の作成や施策の実施、取りまとめをしています。人口減少対策のため策定した「人口ビジョン」や「総合戦略」といった計画は、例えば、芽吹いたばかりの樹木で、その中に多くある施策は、幹や枝葉です。人口減少の抑制に特效薬はありません。長い年月をかけて成長する樹木のように、施策が実を結び、本庄市が将来、活力のあるまちであり続けられるよう考える仕事です。

Q 印象に残っていること

A 企画課の前に図書館や危機管理課に所属していた時、「読み聞かせ」や「交通安全教室」など、子ども達と接する機会が多くありました。交通安全教室に伺った小学校で、数年前に図書館で行った私の読み聞かせを覚えてくれた子がいた時には、とても嬉しく思いました。その時の子ども達の笑顔が印象に残っており、将来の本庄市にも笑顔がたくさん輝いているのをイメージすると、やる気が湧いてきます。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所は、住民の皆さんに一番近い行政機関です。多岐にわたる業務の全てが、住民生活に密着しているものだと思います。皆さんの「やりたいこと」や「やる気」、「アイデア」が、住民満足度や本庄市の未来に直結していると考えたら、ワクワクしませんか？

ぜひ、一緒に本庄市をより一層魅力あるまちにしていきましょう！



◆ 澁澤 伸夫 主査

企画財政部 企画課 政策係
平成15年度採用 一般事務
異動歴/H15.4 市民課、H19.4 図書館
H23.4 自治防災課
H25.4 危機管理課
H26.4 現所属

◆ 財政状況の今後に備える！！

Q 私の所属はこんなところ

A 私の所属する財政課財政係では、予算の編成や市債の借入をはじめとした市の財政運営に関する業務を行っています。市が様々な業務を行うための基盤を整える役割を担っており、幅広い知識が求められます。

私は決算に関する業務を担当しており、決算を分析することで現状を把握し、今後のより良い財政運営に活かすことを目標としています。日々新たな知識を蓄えながら業務に取り組んでいます。

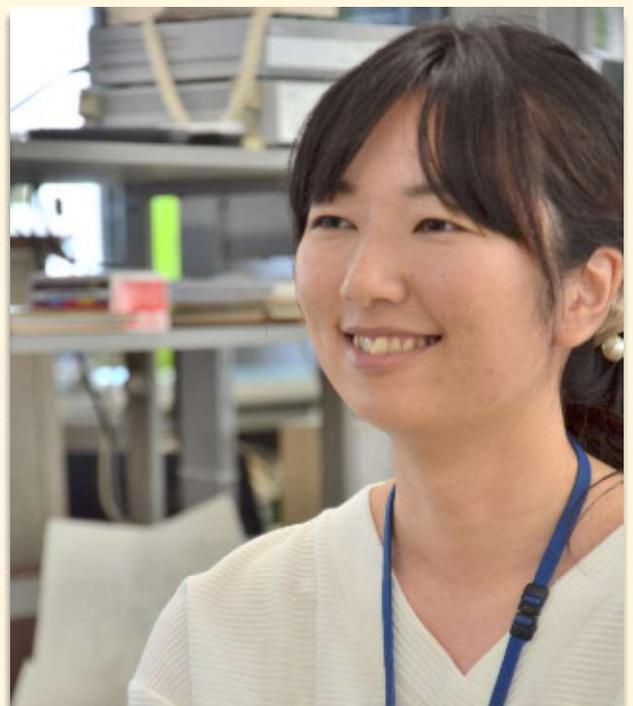
Q 印象に残っていること

A 財政課は専門用語が多く、配属当初は飛び交う用語が呪文のように感じられました。しかし、上司や先輩のサポートの下で仕事をこなすうち、徐々に周囲の会話が理解できるようになり、自身の成長を感じました。

また、実際の工事現場や窓口のような「事業の現場」を見た際、書面上のただの数字が多くの人の手を経て行政サービスとして形になっていることを改めて実感しました。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の仕事は多岐に渡り、それぞれがなくてはならない役割を果たしています。様々な業務を経験することになるとは思いますが、その中で、本庄市の職員としてどんなまちを作っていきたいか、自分の力をどう活かしていきたいのかをぜひ一度考えてみてください。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



◆ 安井 ゆかり 主事

企画財政部 財政課 財政係
平成25年度採用 一般事務
異動歴/H25.4 現所属

◆ 市が維持管理する社会資本 の老朽化に備える！！

Q 私の所属はこんなところ

A 私の仕事は主にまちづくりに関することであり、市街地の整備や空き家対策、まちづくりの計画作成などを行っています。今後到来する人口減少や公共施設等の老朽化などに備え、持続可能なまちの将来像を描きながら計画を検討し、市民の皆様が暮らしやすいまちづくりを行っています。もちろん難しいこともありますが、とてもやりがいのある仕事です。

Q 印象に残っていること

A まちづくり計画に基づいて、まちなかや公共施設が整備され、市民にとって便利で住みやすい市街地が形成されたときに達成感とやりがいを感じます。また、空き家の対策で、危険な状態の空き家が解消され、所有者の方や周辺住民の方から感謝されたことが印象に残っています。空き家の解消や跡地を活用することで、市民にとって、住みやすいまちや良好な市街地が形成されていくことを日々実感しています。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の職員は、まちづくりや福祉など様々な観点から市民のために働くことができるので、とてもやりがいのある仕事だと思います。仕事を進めるなかでは楽しいことも辛いこともあります。優しい先輩たちばかりで楽しい職場環境です。

ぜひ、皆さんも一緒に本庄市で働きましょう。



◆ 西村 哲郎 主事

都市整備部 都市計画課 計画街路係
平成25年度採用 一般事務
異動歴/H25.4 現所属

◆ 危機に備える！！

Q 私の所属はこんなところ

A 私の所属している危機管理課は、防災・防犯・交通安全に関わる業務を行っています。本庄市は比較的災害の少ない地域ですが、近年の防災意識の高まりに伴い、地震・風水害・火災等への更なる備えが求められています。また、防犯や交通安全対策としてボランティア団体を運営したり、小学校等へ赴き警察とともに交通安全教室を実施しています。このように警察・消防をはじめとした関係機関・団体と日々協力して業務を行っています。

Q 印象に残っていること

A 昨年9月、茨城県常総市で鬼怒川が決壊した関東・東北豪雨の際の避難勧告が印象的でした。本庄市では大きな被害は無かったものの土砂災害の危険が高まり、1日のうちに初期活動本部の設置、避難勧告の発令、避難所の開設、関係機関や避難区域住民等への連絡などが慌しく行なわれました。関係機関が一致団結し、素早く災害に対応するには、日頃からの訓練や、職員や市民の防災意識を高める活動などの備えが必要であることを実感しました。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の仕事は、決して保守的で代わり映えない仕事ではありません。周囲からの様々なニーズに応えながら現状をより良くするために積極的に考える必要があります。自分自身を成長させるために、そして「市役所ができること」をより良いものとするために、本庄市役所を選択してほしいと思います。



◆ 小林 智美 主事

市民生活部 危機管理課 安全安心係
平成26年度採用 一般事務
異動歴/H26.4 現所属

◆ 新しい時代に備える！！

Q 私の所属はこんなところ

A 住民票の発行、税金の賦課など、市役所業務のありとあらゆる場面で、パソコンや情報通信機器を利用した「情報システム」が活用されています。この「情報システム」の選定・維持・管理が情報システム課の主な仕事です。

昨年、サイバー攻撃による日本年金機構の個人情報流出が話題となりました。地方自治体はサイバー攻撃の標的のひとつです。この分野は日進月歩であり、毎日の研鑽が重要です。情報システム課の職員は本庄市を守るため、情報セキュリティの最前線で日々奮闘しています。

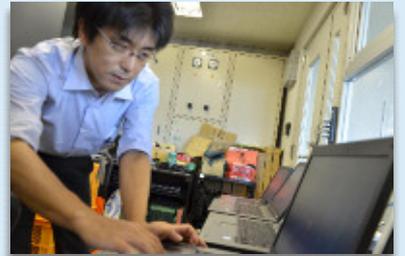
Q 印象に残っていること

A 職員には、想像していた以上に、仕事に対する裁量が与えられています。もちろん、上司の承認を受けて業務に当たらなければなりません。市役所のために、説得力のある提案ができれば、それを後押ししてくれる環境が用意されています。

今、私達は情報セキュリティ対策をどのように強化していくべきか、連日、熱い議論を交わしています。こうした想いが、明日の本庄市を形作っているのです。

Q 受験生のみなさんへ

A 少子高齢化、産業・雇用創出…。全国どここの自治体でも多くの課題を抱え、明るい未来を描くことが困難な時代です。しかし、そんな時代でも、本庄市は組織を構成する「人」を大切に、積極的に職員を採用してきました。その結果、多くの優秀な若手職員が育ち、職場が活気で溢れています。こんな時代だからこそ、力を合わせて本庄市を盛り立てていきましょう。



◆ 村松 一平 主任

企画財政部 情報システム課
情報政策係

平成20年度採用 一般事務

異動歴/H20.4 農政課
H24.4 現所属

◆ 都市間競争に備える！！

Q 私の所属はこんなところ

A 市民活動推進課では、自治会に関する事務や市民活動交流センターの管理運営等を所管しています。これらの中で、私の担当の一つに、本庄市のマスコット「はにぼん」に関する業務があります。

「はにぼん」とは、本庄市のPRや郷土愛の醸成を目的に生まれたキャラクターで、各種イベントの出演やグッズ等を通じて、広く市民の方に愛着を持ってもらい、また、市外の方には本庄市を知ってもらうきっかけになるよう活動をしています。

Q 印象に残っていること

A 年々、「はにぼん」の活動の幅が広がり、メディアやイベント出演の機会が増えました。昨年は、お誕生会に約700人の来場者があり、ファンや多くの家族連れで賑わいました。また、「ゆるキャラ®グランプリ」では、多くの方からの応援の結果、全国第7位にランクインするなど、飛躍の年になりました。

キャラクターの活動の先には数字上の経済効果のみならず、数値では測れない大切な価値があると思います。子供達からの「はにぼん大好き」の言葉や、たくさんの方からの温かい応援が仕事をしていて印象に残っていることです。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所で働く職員は、日頃から積極性を持ち合わせていると感じます。新しく直面する業務に対し、ただこなすのではなく、そこから得る知識や経験を咀嚼し、自身の成長のエネルギーとすることで、柔軟な思考や対応力が身に着くからです。みなさんも本庄市役所で自分を成長させてみませんか？



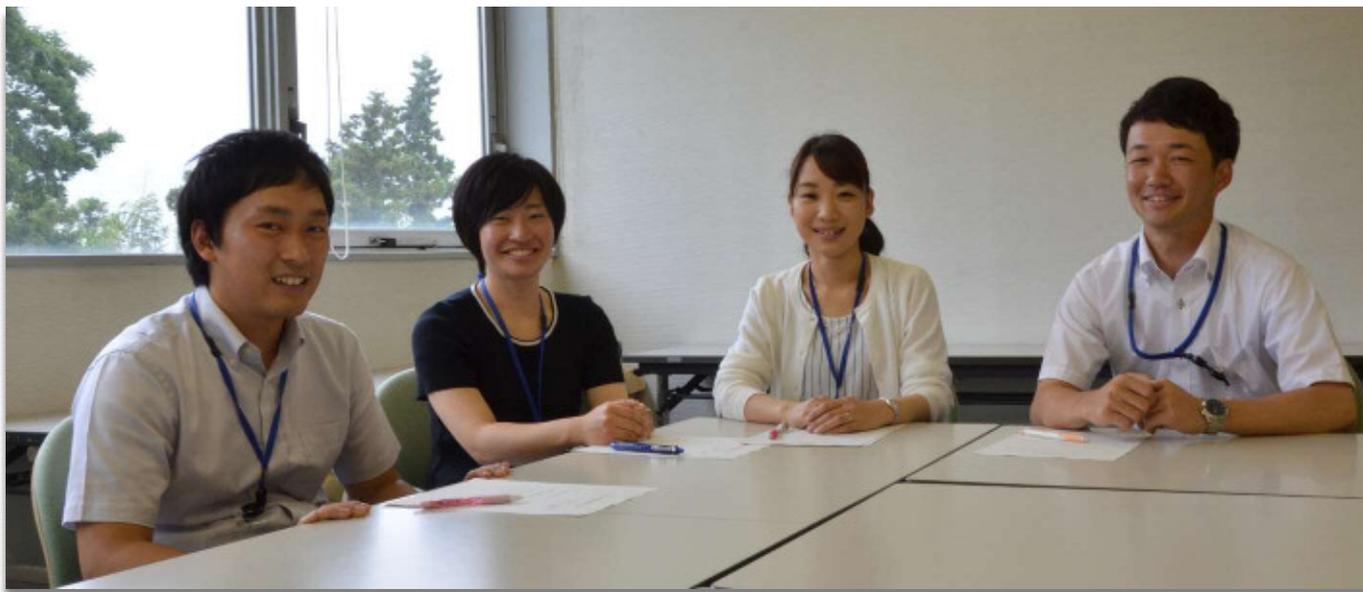
◆ 高柳 洋資 主事

市民生活部 市民活動推進課
市民活動推進係

平成25年度採用 一般事務

異動歴/H25.4 企画課
H27.4 現所属

◇平成 28 年度採用職員座談会



Q1 本庄市を志望した理由

柿島 私は、生まれも育ちも本庄で、ずっと本庄で暮らしてきたので、本庄に愛着があります。だから、本庄市で働きたいと思いました。皆さんの出身はどちらでしたっけ？

吉田 私は栃木出身です。結婚を機に、埼玉へ引越しする予定があり、保健師として働きたいと思っていたので。

柿島 本庄市を選んだ理由は何ですか？

吉田 本庄市は、自然が豊かですし、交通の便がいいので、暮らしやすそうだと思います。あと、以前、群馬で看護師として働いていたときに本庄市には病院が少ないという患者の話を聞いて、そういう課題のある本庄市で、保健師として力になりたいと思ったからです。

高田 私も市外出身です。本庄市で働きたいと思ったのは、自身の高校が本庄にあることです。今の自分があるのは、その高校で得た経験が大きく、そのきっかけとなった本庄市で働きたいと思いました。

根岸 私は前職が、支店の異動等でよく勤務地が変わる職場でした。地元では働ける確率がすごく少ないなかで、次第に地元で働きたいと思うようになりました。私は本庄の児玉地域出身なんです。田舎なんですけど、すごく心が落ち着くんです。

Q2 試験対策や試験を受けての感想

高田 試験勉強は大学2年からやってきました。皆さんはどうですか？

吉田 私は、試験を受ける9ヶ月前くらいから始めました。看護師として働いていたので、休みの日返上で勉強してました。あと、夜勤明けの次の日は勉強に時間を使っていましたね。

柿島 私は、大学と平行してセカンドスクールに通ってました。セカンドスクールに通って良かった点は、集団討論や面接対策ができたことです。

根岸 私は前職を辞めてから勉強を始めたので、昼間を勉強する時間に充て、夜はほとんど勉強しませんでした。土日にも適度に友達と遊ぶようにして、メリハリをつけることで質の高い勉強をしていました。

高田 なるほど。あと、試験対策とは直接関係ないけど、学生は早いうちに単位を取り終わっておくと、勉強の時間が取れると思います。

柿島 試験までのモチベーションの維持の方法は、どうでしたか？

根岸 私の場合、一緒に公務員を目指す仲間がいたのは大きかったかなと思います。励ましあったり、相談したり、面接の練習もできました。

Q3 本庄市の印象と職場の雰囲気！

吉田 自然があることが本庄にいいことだと思います。児玉とか、仕事で外に出る際に、それを感じられるのがいいなって思います。あと、検診とかをやっていると、市民の方が良く話しかけてくれます。あたたかい人が多いなって思います。

根岸 本庄市がちょうどいい大きさなんですよ。都会過ぎず、田舎過ぎず。みなさん人柄がいいんですね。

柿島 職場の雰囲気はどうですか？

根岸 職場柄、内部の職員と関わる機会が多いですが、とても雰囲気の良い職場だと感じます。

吉田 私もそう思います。先輩は尊敬できる人が多いです。職場を離れても、わからないことがあれば皆さん優しく教えてくれます。恵まれた環境だと日々実感します。

高田 私もです。個人的には職場の部活動に入ったことで、顔がすごく広がりました。本庄市は部活動の数が多いので、自分が今までやってきたことを通じて、自身の課と離れた人とつながりを持てたことは、仕事をするうえでも、ありがたいことだと感じましたね。

Q4 これから私は本庄市をこうしていきたい！

吉田 本庄市に住んでみて、実感していますが、本庄市はこんなにいいところだよ！っていう働きかけをしていきたいです。本庄市はまだ知られていない、いいところがまだまだあると思います。

高田 私もそう思います。特に、ここ数年の本庄早稲田駅周辺の変化を見て、すごいと思いました。更に利便性の向上の可能性を感じています。自然と都市の調和したまちづくりの推進を行っていきたいです。

根岸 私は就業支援や人口増に力をいれていきたいです。学生で都内に就職する人が多いと思いますが、私は地元愛が強いので、皆戻ってほしいのになと思います。だから、本庄市に戻りたいと思ってもらえるように、企業を誘致して、若者の働ける場を増やす取組をしていきたいです。

柿島 私は入庁する前は、観光について取り組みたいと考えていました。市内の有名になり得る場所を創設して、本庄を広く知ってもらえればと思いました。入庁後は、内部向けの仕事をしていますが、今は何をやるにしても基盤づくりが大事だと感じています。まずは、今自分ができることを一生懸命やっていきます。

根岸 そうですね。今はまだ実感ありませんけど、自分たちの仕事が市の何かにつながっていると思って日々仕事をしていきたいと思います。



◇職員に対する各種制度

子育て支援制度

本庄市では、子どもを育てながら働いている職員に対して、「次世代育成応援ガイド」(各種休暇の取得方法について記載しているガイドブック)を作成し、育児休業や部分休業などの各種休暇制度の取得の推進を行っています。

休暇制度の種類は以下のとおりとなります。

・子育て支援関係休暇一覧

休暇名	目的
健康診査等休暇(女性のみ)	保健指導や健康診査を受けるため
妊娠障害休暇(女性のみ)	つわり等で勤務することが困難なため
通勤緩和休暇(女性のみ)	通勤混雑による母体又は胎児の健康保持のため
産前休暇(女性のみ)	母体及び胎児保護を目的に出産予定日から前6週間
産後休暇(女性のみ)	母体及び胎児保護を目的に出産後8週間
育児参加休暇(男性のみ)	男性職員が子を養育するため
出産補助休暇(男性のみ)	配偶者の入院の付き添いや出産の立会いのため
育児時間休暇	授乳や保育園等の送迎のため
育児休業	子(3歳まで)の養育のため
部分休業	託児の態様や通勤の状況に合わせて勤務をするため
子の看護休暇	子の疾病等の看護のため

・部分休業取得者の声(男性職員)

男性職員で部分休業を取得中の職員の体験談をお届けします。



総務課
小川 敬

建設課
藤井 信

Q 部分休業の時間はどのように使っていますか？

小川: 朝、子どもを保育園に送っていく時間に使っています。

藤井: 子どもを保育園へ送る時間として利用しています。

Q 部分休業を取得して、良かった点は？

小川: 子育ては「協力する」というより、父親として当たり前「する」ものだと思うようになりました。人生の中で、子どもと一緒にいる時間が多く持てることは、何事にも代え難いと思います。

藤井: 子どもの保育園の準備をしていると、なかなか思うように準備ができず思いのほか時間がかかってしまうことがありますが、部分休業を取得することで、朝に余裕ができ、保育園の送りも焦らず行けて助かっています。

Q 部分休業を取得に当たり、職場の対応は？

小川: とても好意的、協力的に対応いただき、大変感謝しています。

藤井: 上司も理解してくださり、安心して休みを取得しています。また、子どもが体調を崩した際も、職場の方々の理解もあり、皆さんに助けられています。

人材育成制度

・昇任試験制度

本庄市では、一定の職位に上がる際に、昇任試験を実施しています。最近では、女性活躍推進法にかかる特定事業主行動計画を策定し、意欲的な女性職員の管理職への登用を積極的に行っています。

本庄市では多くの女性職員が管理職として活躍しています!!



・各種研修制度

本庄市では、入庁して間もなく行われる新規採用職員研修や各種階層別の職員研修など、職責に応じた職員研修を実施したり、外部団体が開催する各種研修に職員を派遣し、職員の能力向上を図っています。

・新採用職員トレーナー制度

新たに採用された職員に対して、1年間、職場の先輩職員がトレーナーとして、仕事や職場生活全般について、良き相談相手となり、市職員としての自覚を促します。

福利厚生制度

・埼玉県市町村職員共済組合

健康保険事業…組合員とその被扶養者の公務外の病気、負傷、出産、死亡などに対して必要な給付を行っています。

年金事業…組合員が退職や病気になったとき、また不幸にして死亡したときに、年金などの給付を行い、老後の生活や残された家族の生活を保障します。

福祉事業…健康保持を目的として、がん検診やインフルエンザ予防接種の助成、福祉施設等の利用補助を行っています。

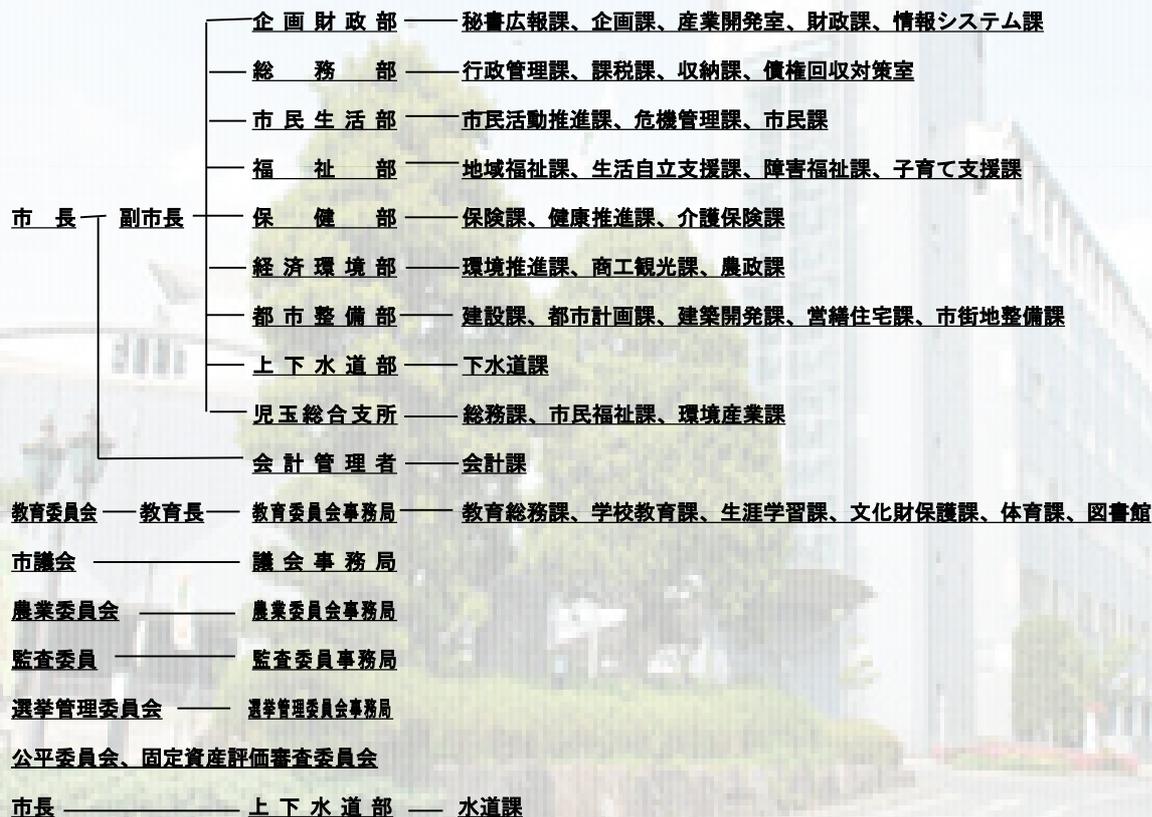
・公務災害補償

地方公務員災害補償制度は、地方公務員等が、公務上の災害(負傷、疾病、障害又は死亡)又は通勤による災害を受けた場合に、その災害によって生じた損害を補償するものです

・職員定期健康診断

本庄市では、職員の健康を管理するため、年1回の健康診断(血圧、視力、聴力、胸部X線、血液検査、検尿、心電図等)を行っています。

◇本庄市行政組織図（平成28年度）



◇過去の試験実施状況

※受験者数が1人以上の職種・区分を掲載しています。

平成27年度				
職種	区分	受験者数	最終合格者数	倍率
一般事務	大学卒	79	12	6.6
	短大卒	3	0	—
	高校卒	7	0	—
技術(土木)	大学卒	6	2	3.0
技術(建築)	大学卒	5	3	1.7
保育士		13	2	6.5
保健師		15	5	3.0

平成26年度				
職種	区分	受験者数	最終合格者数	倍率
一般事務	大学卒	82	12	6.8
	短大卒	4	0	—
	高校卒	8	1	8.0
一般事務(身体障害者)		4	1	4.0
技術(土木)	大学卒	7	3	2.3
	短大卒	1	0	—
	高校卒	2	0	—
保育士		14	4	3.5

◇今年の試験スケジュール

- 【受験案内配付期間】 平成28年7月1日（金）～8月6日（土）
 - 【受付期間】 平成28年8月4日（木）～6日（土）
午前9時～午後5時（ただし、6日は正午まで）
 - 【第1次試験日】 平成28年9月18日（日）
 - 【第2次試験日】 平成28年10月下旬
 - 【第3次試験日】 平成28年11月下旬
- ※詳細は、別紙「平成28年度本庄市職員採用試験受験案内」をご覧ください。

◇問合せ先



本庄市役所 総務部 行政管理課 職員係
〒367-8501 本庄市本庄 3-5-3 Tel.0495-25-1160
URL <http://www.city.honjo.lg.jp/>

